会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回茨木市文化振興施策推進委員会
開催日時	令和元年6月4日(火) (午前 午後 2時 開会) (午前 午後 3時30分 閉会)
開催場所	市役所南館3階 防災会議室
議長	出口委員(委員長)
出席者	飯嶋委員、大西委員、川本委員、木村委員、栗本委員 出口委員、山野委員 【7人】
欠席者	雨森委員、池上委員 【2人】
事務局職員	市民文化部関係 小田市民文化部理事、辻田文化振興課長、田中文化振興課主幹兼振興係長、 川寄文化振興課主査 企画財政部関係 向田市民会館跡地活用推進課長、山根市民会館跡地活用推進課副主幹、 的場市民会館跡地活用推進課職員 【7人】
開催形態	☒ 公開 / ☐ 非公開
議題(案件)	(1) 市民会館跡地エリアの整備について (2) 第5次茨木市総合計画後期基本計画について (3) その他
配布資料	(1) 次第 (2) 委員名簿 (3) 市民会館跡地エリア整備事業設計・施工業務実施方針 (4) 第5次茨木市総合計画後期基本計画関連資料
傍聴人	2人

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	1 開会 ただ今から、茨木市文化振興施策推進委員会を開催する。では、最初に委員の出席状況を事務局から報告をお願いします。
辻田文化振興課長	それでは、委員の出席状況を報告する。全委員は9人であり、雨森委員、池上委員から欠席の旨の連絡を受けており、本日、出席の委員は7人である。過半数以上の委員が出席しており、茨木市文化振興施策推進委員会規則第6条第2項により、会議は成立している。
出口委員長	2 議事 それでは、これより案件の審議に入る。 会議次第に沿って議事を進め、会議の終了は午後3時30分頃を予定している。 まず、案件について事務局の説明を求める。
辻田文化振興課長	本日は案件が2つある。 1つ目は「市民会館跡地エリアの整備について」の報告、2つ目は茨木市附属機関設置条例に定められた本委員会事務の文化振興に関する事項である「第5次茨木市総合計画後期基本計画について」である。
辻田文化振興課長	(1) 市民会館跡地エリアの整備について まず、1つめの案件であります。市民会館跡地エリア整備について、市民会館跡地活用推進課の向田課長から説明する。
向田市民会館跡地活用推進課長	【「市民会館跡地エリアの整備について」説明】
出口委員長	市民会館跡地エリアの整備について、報告を受けた。各委員から感想や質問等をお願いしたい。
木村委員	他にはない目玉のようなものを検討して、形にして欲しい。
向田市民会館跡地活用推進課長	茨木のシンボルのなるような施設ということも事業者選定にあたっての要求水準に入れる予定であるので、事業者からの提案も期待している。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	施設の名称や愛称はいつごろ決まるのか。
向田市民会館跡地 活用推進課長	どこかのタイミングで市民意見の募集を考えている。作業がある程度進んでからネーミングライツも含めて検討する。
飯嶋委員	<p>一目見たときに一生忘れないデザインもあるので、そのような施設にして欲しい。今回、事業者に一括して発注するとのことであるが、色んな施設を見てきた中で、ほとんどの施設では音響関連の設計業者に依頼して大ホール等の設計をしているので、うまく連携しながら建設を進めるよう望む。搬入については、施設によっては出演者用のエレベーターが小さいことがあるので、乗降にあまり時間が掛からないようにして欲しい。また、チェンバロなどの大きな楽器をホールに運べるよう動線に配慮をお願いする。リハーサル室は舞台と同じような広さを予定しているとのことであるが、サロンコンサートなどで利用ができるようにして欲しい。多目的ホールの天井の高さは音の響きにも関わるので、確保をお願いする。</p>
向田市民会館跡地 活用推進課長	<p>大ホールの設計については、事業者が音響関係の業者を協力会社として提案の中に入れてくることが予想される。出演者用のエレベーターについては想定しており、大きさ等検討する。多目的ホールへの動線に関する懸念を選定委員会で報告する。リハーサル室でのサロンコンサート開催については案として考えられるので、反映できるところはする。</p>
川本委員	<p>18 頁「(1) 大ホール【基本事項】」に見切れ席はできる限り避けるとの記載があるが、見切れ席とは、基本的に幕類を使用するプロセニウム形式の舞台の際に生じる。音響反射板を使用したときは幕類がないため、どの席からでも舞台全体が見えるため、見切れ席は生じないと考える。プロセニウムは客席と舞台の間に枠を付け区切る形式で幕類を使用したとき、幕の間から人や大道具が見えてしまうところが見切れ席となるので、どこを見切れ席と業者が判断するのか。厳密には借りる人や団体が決めることになるが、そこをしっかりと伝えたいと感じた。また、18 頁の下部に突如「音響反射板を設置した状態で」との記載があるので、明確に設置することを記載した方が良いと思う。</p> <p>20 頁「楽屋関係」のリハーサル室がどういう使い方をするのか。</p> <p>22 頁「(3) 市民利用諸室【要求水準】」の多目的室Dはダンスやバレエでの利用が想定されるので、鏡を設置する必要があるのではないか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
向田市民会館跡地 活用推進課長	音響反射板は18頁のみの記載となっているので、別の箇所にはっきりと記載するようにする。リハーサル室の使い方の想定であるが、本番のリハーサルができるよう舞台の大きさに近い形を予定している。多目的室Dは最終的に鏡を壁面に設置することを検討している。
栗本委員	<p>ターゲットについて、大ホール以外は市民であるが、大ホールは市民以外にも広げて設定しているのか。設定によっては仕様に入れる内容も変わってくるので、確認しながらプロポーザルを行う必要があるかと思う。大ホールの席数は1,200であるが、中ホールでもなく、特大ホールでもない。良いものを多くの方に見てもらうにはちょうど良い規模感である。</p> <p>また、全国的に古典芸能が忘れられているホールが多い。大阪発祥の古典芸能も多いので、上手と下手に設置・撤去可能な花道があるホールとなればプラスアルファとなる。例えば、宝塚歌劇ではないが、オーケストラボックスと客席の間にある銀橋を設置するほか、客席を貫くようなもの、舞台と客席が近くなるようなものがあれば、古典芸能というアプローチでいくと関西ではこしかなないものになり、効果的に使える。そうすると小・中学生の劇場鑑賞教室など、ちょうど良い規模で本物に触れる機会を提供できる。</p>
向田市民会館跡地 活用推進課長	ターゲットについては市民をメインとしている。席数であるが、1,200では興業は難しいと考えている。小・中学校の利用が増えているので、保護者の鑑賞も含めての想定で1,200としている。ただ、プロの公演を否定しているわけではなく、市民が優れた文化に触れる機会を設けたいとも考えており、そこはバランスを取りながら進めたい。
山野委員	実施方針はかなり良いと思う。設計・施工が非常に楽しみである。1頁「5 業務概要」の図において、今回は敷地A・Bを対象としているが、敷地C・Dも含めたエリア全体で一体感があるデザインを意識して敷地A・Bの整備を進めて欲しい。可能な限り階段を排除して緩やかなスロープにされたい。新施設では一般利用の駐車場は設置しないと思うので、中央公園地下駐車場からの動線については画期的なアンダーパスや通りをまたぐような道の整備など検討し、不便にならないようにされたい。いままで利用した方が使うだけでなく、産官学民が一体となり、施設を利用して、いかに茨木らしい活動ができるかを今の段階でソフト面も合わせて検討する必要がある。また、アマチュアのオーケストラを結成し、こけら落としのコンサートをすると非常に盛り上がると思う。

議 事 の 経 過

発言者	議題(案件) ・ 発言内容 ・ 決定事項
向田市民会館跡地 活用推進課長	指摘のとおり敷地A・B・C・D全体のエリアデザインで考えることが重要であると考えているため、業者からはエリア全体のデザインを参考資料としてもらう予定である。先行して敷地A・Bエリアの整備を進めながら、事業者からの参考資料を元に敷地C・Dエリア整備の準備を行い、まちの中心部全体のデザインを進めていく。中央公園地下駐車場から施設までの動線は雨を受けないような通路を検討している。アンダーパスは敷地C・Dエリアの整備の際に検討することとなる。
出口委員長	中央公園駐車場から歩くと何分かかかるのか。
向田市民会館跡地 活用推進課長	車を停める位置によるが、端からでも10分程度である。
大西委員	非常に細かく記載されている。複合施設ということで、ホール・図書館・子育て関係の施設が入っているので、来場者の各施設への動線を配慮していただきたい。施設の喫煙については、施設内・敷地内禁煙は決めているのか。
向田市民会館跡地 活用推進課長	来場者の動線については、特にホール関係の動線に配慮し設定する。それ以外のホールや子育て施設については可能な限り混ざって欲しいとも考えているが、多くの方が出入りするので安全性に配慮して計画を立てる。 少なくとも施設内禁煙を考えている。ただ、楽屋側に喫煙スペースを設けて欲しいという意見もあり、建物の外になるかもしれないが喫煙場所の設置も検討している。
出口委員長	2頁「7 実施スケジュール」に記載のある市民参加型シンポジウムはどんなイメージを考えているのか。
向田市民会館跡地 活用推進課長	令和2年3月の段階では事業者が決定しているので、より具体的なイメージを市民に紹介・共有し、期待感を持ってもらいたい。また、次の設計段階でも市民参加型のワークショップの開催を検討しており、その間を繋ぐイベントと位置付けている。
出口委員長	2頁「(5) 履行期間」に令和5年9月末竣工引渡予定とあるが、それまでにA Iの発達が予測される。完成したときに古めかしいものにならないようにして欲しい。15頁「【防災安全計画】」については、新しい施設の設備で対応する以外に色んな対応ができる。テロを起こす人間が避けるホールという部分があれば良いかと思う。A E Dの設置等、各種の法令に準じた細かい部分の対応については、どのようにするのか。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
向田市民会館跡地 活用推進課長	今後作成する要求水準書ではA E Dの設置等、より詳細な内容を記載する。
出口委員長	財源は国の補助金を充てるのか。
向田市民会館跡地 活用推進課長	国の補助金も充てる予定をしている。
出口委員長	税金を使うことに対してはK P I（重要業績評価指標）について、設定することが求められる。何か一つ強いメッセージを出せるようなデータが取れると大変良い。
飯嶋委員	A Iの関係で言うとチケット購入に現金を使わない時代が5年先に来ているかと思う。
出口委員長	市民の利用・演奏の機会増加など、観客に負担がないようなデータが取れるようにするといったことも要求水準に入れることができればと思う。オリンピックが施設の竣工までにあることにより、新しい技術が出てくるので、うまく取り入れて欲しい。
木村委員	オリンピックや万博などで世の中が大きく変わっていくと思う。これから世の中がどうなっていくのかといった視点も含めて、しっかりとコンセプトを持った業者を選定して欲しい。
出口委員長	現在、関西国際空港ではすでに判子を押さなくなっており、竣工するときには施設に入るときボディチェックを全てA Iで行うような時代になっているかもしれない。
向田市民会館跡地 活用推進課長	先ほど、令和5年9月末に竣工予定と伝えたが、ホールについては半年の準備期間を設け、令和6年4月開館になる。市民の演奏会等の実施を半年間の準備期間中に考えているが、それまではプレ開館となる。
飯嶋委員	新施設が建設後に福祉文化会館の解体が予定されているが、文化ホールを代替となる施設がない。今回の施設や敷地C Dエリアに250人規模の良質なホールを入れて欲しい。
出口委員長	ほかに感想・質問等はあるか。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
各委員	【感想・質問等なし】
出口委員長	<p>それでは、案件1「市民会館跡地エリアの整備について」の報告を終了する。 ここで市民会館跡地活用推進課の向田課長、山根副主幹、的場は公務のため、退室する。</p>
	<p>【市民会館跡地活用課 向田課長、山根副主幹、的場退室】</p>
出口委員長	<p>(2) 第5次茨木市総合計画後期基本計画について 次に案件2「第5次茨木市総合計画後期基本計画」について、説明を求める。</p>
田中文化振興課主幹兼振興係長	<p>平成27年3月策定の第5次茨木市総合計画において、資料1「(2)計画の期間」のとおり前期基本計画の計画期間は平成27年度から令和元年度までであり、今年度が後期基本計画の策定に向けて、内容を見直すタイミングである。資料2の前期基本計画策定以降に資料3のとおり「文化芸術基本法の一部を改正する法律」及び「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行された。資料4・5で示している各法律の主な内容と前期基本計画における対応箇所を踏まえ、後期基本計画の内容を審議されたい。</p>
出口委員長	<p>説明は終了した。法改正があったが、すでにある基本計画の中に盛り込まれているということであった。 各委員の意見、感想などをお願いしたい。</p>
川本委員	<p>確認であるが、資料2は資料1「(2)計画の期間」のどこにあたるのか。</p>
田中文化振興課主幹兼振興係長	<p>前期基本計画5年【H27→H31】にあたる。</p>
出口委員長	<p>資料4「(2)平成30年6月 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」では、障害者が主体者となっている。一方、資料5-2の(A)では主体者としてではなく鑑賞者としての記載であり、異なるのではないか。新しい法律では、一歩踏み込んで障害者が主体者となって参加することも意図として盛り込んでいるかと思う。</p>
田中文化振興課主幹兼振興係長	<p>前期基本計画では、鑑賞の機会の拡大についての記載はあるが、参加・創造の記載はない。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	資料 5-1 の (D) と資料 5-2 の (A) 参加・創造の機会が (A) で読めるということかと思うが、法律はもう少しポジティブなイメージであるように感じる。これで読めるということであれば、このままでも良い。
辻田文化振興課長	後期基本計画については、前期基本計画を基本的には踏襲していくなかで、法律の改正があった。文化振興ビジョンについては概ね 10 年間で定めているのでこのままであるが、今年度から来年度にかけて基本計画の前期・後期の移りかわりの時期であるので、今回審議をお願いしている。計画全体として見たときに関連する施策 1-3 の大きな枠組みの中で読めると考えている。
出口委員長	整理すると基本構想と文化振興ビジョンは 10 年で変更する時期ではない。基本計画は前期・後期で今が変更するタイミングということか。
辻田文化振興課長	そのとおりである。
川本委員	後期計画ではもう少し踏み込んだ記載ができればと思う。
出口委員長	障害者による文化芸術活動の推進に関する法律のなかで自治体の役割はどのように記載されているのか。
田中文化振興課主幹兼振興係長	法律では地方公共団体の責務として、「地方公共団体は第 3 条の基本理念にのっとり、障害者による文化芸術活動の推進に関し、国との連携を図りつつ自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」と記載されている。
出口委員長	障害者による文化活動と記載があるので、前期と後期で変更するタイミングでもう少し踏み込んで変更することはできないか。現状の記載では障害者によるとは読めないのではないか。
小田市民文化部理事	資料 5-2 (A) の部分については、鑑賞のみに受け取れるが、(A) の上段に鑑賞、実践の機会を設けるとの記載、また現状と課題にも鑑賞や実践の機会を設ける必要があるとの記載もある。法律では地方公共団体は障害者による文化芸術活動の推進に関し、自主的かつ主体的に、施策を策定と記載されているので、そのような文言の追加について検討する。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	法の趣旨に沿って追加・修正できるところは変更いただければと思う。
川本委員	資料3の障害者による文化芸術活動の推進に関する法律のイメージの基本理念で障害の有無に関わらず、文化芸術を鑑賞・参加・創造の3方向で記載があり、(A)については、そのうちの鑑賞のみが当てはまると読める。
田中文化振興課主幹兼振興係長	市内で文化活動をしている障害者団体はあるのか。
小田市民文化部理事	文化に特化した団体はないが、展覧会等を実施している福祉施設はある。
川本委員	かなり以前から市も陶芸・木工・縫製などの様々な分野の先生を招き、障害者を指導し施設内で展示販売を行ってきた。また、現在も毎月、市役所の中で制作した作品の展示販売を行っている。市の所管としては、障害福祉の部署である。
大西委員	ホールを利用して活動する障害者団体ができたら良いと思う。例えば最近、障害者によるダンスイベントを目にする機会があったので、市内で団体が出来てホールで実施するなどして、さらに普及できればと思う。
出口委員長	文化振興財団でも今年2月に一般の方と交流できるような形で障害者も参加した。財団では、これまであまりダンスに取り組んでいなかったが今後は、継続的な実施を考えている。
小田市民文化部理事	障害の有無に関わらず、障害のある方がアートに関して能力を発揮し、評価されている。
木村委員	市の美術展では各部門で障害者が応募し、入賞している状況である。
出口委員長	美術に関しては、障害者であるからこそできることがある。障害の有無に関わらず、美術に関しては対等の立場であると考えている。
各委員	他に感想・質問等はあるか。
	【感想・質問等なし】

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p>それでは、案件2「第5次茨木市総合計画後期基本計画」についての審議を終了する。</p>
出口委員長	<p>3 その他</p> <p>本日の案件は以上で終了である。</p> <p>各委員、他に何か意見等はあるか。</p>
飯嶋委員	<p>新施設のホールの建設に向けて、様々なサークルを立ち上げたりするなど、ハードだけでなく、ソフト面についても合わせて進めてく時期に来ていると思う。</p>
出口委員長	<p>情報提供したいことがある。10年以上、何も動かなかつた預貯金いわゆる休眠預金が民間の公益活動に利用できるようになる。今年の1月に経団連がつくった一般財団法人が取り仕切っている。休眠預金は年間約1,200億円あり、金融機関が持ち主に返せるのが約500億円、残りの約700億円は経団連がつくった一般財団法人が民間公益のために使うこととなる。公益活動には子どもの問題など、3つの分野があり、文化芸術はダイレクトに記載されているわけではないが活用の可能性もあると考える。今年は20～40億円ぐらいを使う予定である。</p>
飯嶋委員	<p>大阪の団体でも使用可能であるのか。</p>
出口委員長	<p>東京から全国の資金分配団体に資金が入り、そこから公益団体に助成する流れである。資金分配団体は現在募集中であるが、大阪で手を挙げるところがあるのかは分からない。東京の団体は助成に向けて準備を進めている。</p>
飯嶋委員	<p>同じ補助金かどうかは分からないが、広域連合が国の補助金がホールを作る直前まで承認されなかったが、市長が国の省庁に交渉して、支払われた例がある。</p>
出口委員長	<p>ホール建設に使えるものではないが、地域社会での諸問題解決に利用できるもので、活用いただければと思い情報提供をした。</p> <p>各委員、他に何か意見等はあるか。</p>
各委員	<p>【意見等なし】</p>
出口委員長	<p>それでは、本日の会議は、これをもって終了とする。</p>